



生育順調で肥大良く、果実品質も良好 宮崎県産マンゴー「太陽のタマゴ」が初入荷！

宮崎県産完熟マンゴー「太陽のタマゴ」試食宣伝会

- 期日：4月13日(木)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：JA 宮崎経済連
- 内容：宮崎県産マンゴー「太陽のタマゴ」の紹介や試食宣伝等

各農家で受光条件を工夫して「太陽のタマゴ」を出荷！

JA 宮崎経済連は、宮崎県産マンゴー「太陽のタマゴ」が大田市場の初入荷に合わせて、試食会を開催しました。

H28年マンゴーの都中央入荷量は、宮崎県が1位で、58%を占めています。今年の生育は順調で、平年並みの収量が見込まれています。

「太陽のタマゴ」は宮崎県産完熟マンゴーの中でも更に選び抜かれた高級ブランドマンゴーで、「重さが350g以上(2L以上)」、「糖度15度以上」等の厳しい基準があります。「太陽のタマゴ」には赤秀と青秀のランクがあり、赤秀は無傷で全体の2/3以上が鮮やかな紅色、青秀は紅色が1/2以上の基準があるとのことでした。

栽培にもこだわりがあり、果実の全体に太陽光が当たるように、光反射シート(タイベック等)を敷いたり、果実ごとに反射板をつけたり、色づきの悪い果実の向きを変える等農家が苦勞して「太陽のタマゴ」を生産しているとのこと。また、樹上完熟にもこだわっており、果実にネットをかぶせて、完熟して自然に落果したものだけを収穫しています。

南国だけでなく各地でマンゴーを栽培！

当日は、「太陽のタマゴ」が市場関係者に提供されました。準備の段階から人だかりが出来て、なめらかな食感とトロピカルな香りが大変好評でした。

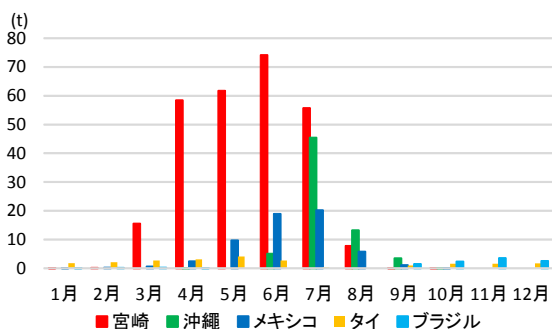
マンゴー出荷量(H26農林水産省統計)は、1位が沖縄県(占有率51%)で、宮崎県(同33%)、鹿児島県(同12%)と上位3県で占有率96%を占めています。4位以下は、熊本県が占有率2%、福岡県、北海道、高知県が同0.7%で、ほぼ横一線状態です。北海道では環境制御されたハウスで温泉を利用して11月~12月に出荷されており、南国だけでなく日本各地で栽培されています。



宮崎マンゴーのポスター



試食宣伝の様子



都中央におけるマンゴーの月別・産地別入荷量 (H28)



赤秀(出荷量の約5%)と青秀(同約15%)の印